

令和3年7月号

今回報告の定例会は



たてやま議会だより

主な内容

議案の概要と 委員会審査	3～10頁
一般質問	11～15頁
議会通信	16頁

未来に残したい館山の風景



夕焼けのワンシーン
撮影者：井田友海さん

第2回臨時会

議長 副議長
選 挙

議長に石井敬之議員 副議長に望月昇議員を選出

令和3年第2回臨時会が5月17日に開催され、石井信重議長と太田浩副議長の辞任に伴う議長・副議長選挙が行われ、新たに石井敬之議員が議長に、望月昇議員が副議長に選出されました。併せて、各組合議会議員の補欠選挙並びに任期満了に伴う常任委員会や議会運営委員会の委員改選などが行われました。新たな議会の構成は、次のとおりです。

第2回臨時会の概要は、次号でご報告します。



望月昇副議長 石井敬之議長

議長・副議長
就任あいさつ

安全・安心なまちづくり 公平かつ円滑な議会運営に全力

市民の皆様には、平素から市議会に対して、深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

私たちは、去る5月17日の臨時会におきまして、議員各位の推挙を受け、正副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、心から感謝いたしますとともに、その責務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでございます。もとより微力ではありますが、決意を新たに、さらなる市政の発展と市民福祉の向上を図るため、皆様から寄せられる多くの声を市政に届け、公平かつ円滑な議会運営に全力で取り組んでまいり所存であります。

未だ終息が見えないコロナ禍の中で、市議会としても議員一丸となり、地域経済の復興・発展等、諸課題の解決に迅速に取り組む、安全で安心なまちづくりに努めてまいりますので、引き続き、市議会へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

館山市議会 議長 石井敬之 副議長 望月 昇

議会の構成 (◎委員長、○副委員長)

議長 石井 敬之 副議長 望月 昇

総務委員会委員 (6人)

◎榎本 祐三 ○佐野 聖一 鈴木ひとみ
石井 敬之 龍崎 滋 石井 信重

文教民生委員会委員 (6人)

◎鈴木 順子 ○太田 浩 倉田 孝浩
石井 敏宏 森 正一 鈴木 正一

建設経済委員会委員 (6人)

◎瀬能 孝夫 ○長谷川秀徳 室 厚美
望月 昇 秋山 光章 本橋 亮一

議会運営委員会委員 (9人)

◎太田 浩 ○石井 信重 佐野 聖一
長谷川秀徳 倉田 孝浩 室 厚美
龍崎 滋 鈴木 正一 榎本 祐三

千葉県後期高齢者医療広域連合議会委員 (1人)

鈴木 正一

安房郡市広域市町村圏事務組合議会委員 (2人)

石井 敬之 石井 信重

三芳水道企業団議会議員 (5人)

佐野 聖一 長谷川秀徳 倉田 孝浩
鈴木 正一 秋山 光章

監査委員

本橋 亮一



第1回
臨時会防災行政無線の整備
ワクチン接種関連予算等を議決原案
可決

令和3年第1回臨時会は、2月1日に行われ、市長提案の議案1件の審議を行い、原案どおり全会一致で可決しました。

◇議案第1号 令和2年度館山市一般会計補正予算（第11号）

歳入歳出それぞれ4千499万4千円を追加し、総額295億1千280万1千円とするものです。主な内容は、次のとおりです。

総務費／防災行政無線整備事業（2千255万1千円）＝老朽化により倒壊の危険性がある市内3カ所の防災行政無線子局（西岬小学校、相浜神社、布良崎神社）の更新を行うものです。

衛生費／新型コロナウイルスワクチン接種事業（2千62万円）＝新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全国的に実施される全市民対象のワクチン接種に要する経費（医療機関への予防接種委託料、問合せや予約に応じるコールセンター運用業務委託料等）を追加するものです。

債務負担行為の補正／新型コロナウイルスワクチン接種事業における令和2年度から令和3年度にわたる契約行為を行うため、債務負担行為の補正として、2億3千243万7千円を追加するものです。

会議初日（2月25日）は、会期を27日間と決定した後、市長から各議案について提案理由の説明があり、併せて議案第25号の先議を行いました。3月2日及び3日は、10人の議員が一般質問を行い、市政の諸問題について市当局の考えをいただきました。3月8日は一般議案、補正予算について質疑を行いました。なお、今議会では、新型コロナウイルス感染症予防のため、所管の常任委員会への審査の付託を行いませんでした。最終日（3月23日）は、予算審査特別委員会の委員長が、委員会での議案審査の経過及び結果を報告しました。その後、各議案の討論、採決を行いました。続いて追加議案の審議及び議会運営委員会提出の発議案の審査を行い、閉会しました。

令和3年3月定例会は2月25日から3月23日までの、会期27日間に行われて開かれ、市長提案の議案30件、議員提案による発議案3件の審議を行い、原案どおり可決しました。3月定例会に提案された主な議案と委員会の審査内容を紹介します。

3月
定例会令和3年度
館山市各会計予算などを議決議案第2号～議案第6号 令和3年度館山市一般会計予算、
3特別会計予算及び下水道事業会計予算＝下表

令和3年度一般会計・特別会計・下水道事業会計予算

単位：千円

会計名		本年度予算額	前年度予算額	増減率（％）
一般会計		20,957,000	19,898,000	5.3
特別 会計	国民健康保険	6,055,357	6,082,725	△0.4
	後期高齢者医療	836,528	808,444	3.5
	介護保険	6,024,110	5,908,577	2.0
特別会計合計		12,915,995	12,799,746	0.9
合計①		33,872,995	32,697,746	3.6

公営会計 合計	下水道 事業	収益的支出	547,716	543,438	0.8
		資本的支出	549,256	477,657	15.0
		合計②	1,096,972	1,021,095	7.4

総計（①＋②）		34,969,967	33,718,841	3.7
---------	--	------------	------------	-----

原案
可決

予算審査
特別委員会令和3年度予算を
慎重に審査

令和3年度館山市一般会計予算、3特別会計予算及び下水道事業会計予算の審査に当たり、9人の委員で構成する予算審査特別委員会を設置し、慎重に審査を行いました。



予算審査特別委員会

委員長

秋山 光章

副委員長

瀬能 孝夫

委員

佐野 聖一

倉田 孝浩

鈴木 ひとみ

室 厚美

石井 敏宏

森 正一

太田 浩

総務費

◇地方バス路線維持補助金について

問 令和2年度より約2倍の額になっている理由を伺います。

答 丸・平群線、豊房線、白浜千倉館山線の3線で、1.5年分に相当する補助金の要求を行ったこと、2路線が追加になったこと、経常損失が増加傾向にあることが理由です。

◇移住・定住促進事業について

問 移住者定住促進助成金の令和2年度の実績を伺います。

答 館山市単独で実施している子育て世帯向けは6件で22人、千葉県事業として取り組んでいる東京圏からの移住者向けは1件で1人です。

◇徴収対策事務について

問 コンビニエンスストア収納のスマホアプリ納付分とは、どのような仕組みか伺います。

答 請求書支払い機能を使い、アプリ内の残高で支払うもので、利用方法は納付書に印刷されているコンビニ用のバーコードをアプリで読み取り、画面に表示された内容を確認後に支払うことで、外出することなく、どこでも24時間納付が可能となります。

民生費

◇包括的相談支援業務について

問 参加支援事業の現行制度では対応できない制度とは何かを伺います。

答 例えば引きこもりなどは、障害の有無などの状況で、制度上、市福祉部門では関わることでできない場合がありますが、包括的相談支援事業の中で関わり、各福祉団体と連携し、その改善に取り組んでいくことを考えています。

◇高齢者福祉団体補助事業について

問 老人クラブ数が減少している理由を伺います。

答 毎年4クラブ程度が減少している直接的原因としては、会長のなり手がいないことによる解散がほとんどで、組織内での後継者等の役員の育成が大切であると考えています。

衛生費

◇予防接種事業について

問 新型コロナウイルスの影響により予防接種を控えたことで、接種スケジュールを過ぎた事例はあったか伺います。

答 令和元年度と令和2年度の4月から7月までの比較では、接種率はほとんど変わらず、ワクチンの種類によつては接種率が上がっています。

農林水産費

◇有害鳥獣対策事業について

問 報奨金を南房総市に合わせ増額したらどうか伺います。

答 南房総市と定住自立圏構想の共生ビジョンを策定す

る準備をしており、有害鳥獣対策は両市の共通の地域課題なので、報奨金の均一化統一化を含め検討すべき課題であり、共生ビジョンの5年間のプランの中で対処できるように進めたいと考えています。

◇食のまちづくり拠点施設整備事業について

問 現在公募中だが説明会に参加した企業などの反応や声をどのように受け止めていますか。

答 2月1日に募集を開始後、応募を考えている6グループの事業者と直接対話を実施しており、対話内容は事業者のアイデア流出になるため非公表ですが、6グループ参加という反応があったと捉えています。

商工費

◇企業誘致推進事業について

問 企業誘致の成果について伺います。

答 令和元年度実施のリビングエニウェア・ウィークや、その後も誘致活動を継続した結果、館山市のワーケーションの可能性が一定の評価を

され、リビングエニウェア・コモンズというワーケーション拠点の誘致計画が、令和3年度の予定として進んでいます。

◇“渚の駅”たてやま施設管理事業について

問 令和2年度より約700万円、16・6%の増額理由を伺います。

答 主に新規事業の渚の駅博物館照明LED化工事等であり、照明機器の老朽化が進み、大部分が蛍光灯のため頻繁に球切れ等を起こす上、メーカーが製造販売の中止を決定し、在庫限りで対応できなくなりました。

また、LED化で機器の故障も減り、電気代も削減されることから、工事を実施したいと考えています。

土木費

◇みなと振興事業について

問 多目的桟橋に寄港した客船等の乗客について、近隣地域観光への動向を調査していますか。

答 オプショナルバスツアーへの参加者も多く、その約6割の方がいちご狩りや花摘みなど、基本的に市内観光

を中心に組まれたツアーに参加しています。

また、近隣地域としては、季節により、鴨川シーワールド、枇杷倶楽部、野島埼灯台、鋸山、濃溝の滝などにも訪問しています。

◇城山公園整備事業について

問 山頂付近園路補修工事により、茶室の前から山頂に向かつての斜路をアスファルト舗装することで、車いすなども通れるようになりますか。

答 車いすの方が山頂まで上がるように施工したいと考えています。

消防費

◇消防団活動事業について

問 消防団員報酬は、全国的に見てどれくらいですか。

答 館山市消防団の一般団員への報酬額は年額3万6千円で、全国と千葉県内の平均額を上回っており、国からの標準額である3万6千500円と、ほぼ同水準です。

問 出動手当について、県北は交付税措置の7千円くらいで支給されていますが、館山市の交付税措置も同額く

らいですか。

答 7千円が目安として示されていますが、館山市は4時間以上で3千600円、4時間未満で1千800円となっています。

教育費

◇遠距離通学児童生徒通学費について

問 学校再編をやる学区外も増えると思うので、理由があり市内の指定された学校以外に通う場合は、補助を出したらどうですか。

答 昨年12月の館山市学校再編調査検討委員会からの答申や、今後の学校再編の方針と照らし合わせて検討します。

◇市営プール指定管理事業について

問 指定管理への移行後の利用者の状況を伺います。

答 令和元年度と令和2年度は、台風や新型コロナウイルスの影響により休館した日もあり、単純比較はできませんが、各年度の4月から2月までの開所日1日当たりの利用者平均は、指定管理前の平成30年度は88人、指定管理初年度の令和元年度は103

人、令和2年度は109人で、着実に実績が上がっています。

歳入

◇市税について

問 台風や新型コロナウイルスで市内経済が落ち込む中、なぜ市税収入を約1%の減と見積もるのか伺います。

答 影響が想定される市民税、固定資産税・都市計画税、入湯税などについて、前年度予算に対し、約8千万円の減少を見込んでいます。

一方、市たばこ税のように新型コロナウイルスに関係なく、税法改正により逆に増加する税目もありますので、想定可能な範囲で対前年度比約1%の減、約6千200万円の減額を見込みました。

行財政改革

問 行財政改革の取組状況について伺います。

答 不断の取組が必要なため、行財政改革委員会の開催の有無に関わらず、継続的に取り組んでいきたいと考えています。

介護保険特別会計

地域支援事業について

問 配食サービスの利用者が増加している要因について伺います。

答 高齢者数の増、特に、独居高齢者が増加傾向にあることに加え、新型コロナウイルスの影響により、外出等が減ったことによるものと考えています。

下水道事業会計

◇長期前受金について

問 貸借対照表の負債の部にある、50億円近い長期前受金は、国や利用者への借金ではなく、あくまでも会計上の負債ですか。

答 そのとおりです。

案号 第2号 議論

新型コロナウイルス対策に 必要予算を遅滞なく

【賛成討論・室厚美議員】一般会計予算について、行財政改革の懸念はありますが、令和元年房総半島台風の復旧復興に加え、新型コロナウイルス感染症対策に必要な予算を遅滞なくつけていくことが今は最重要なので、賛成します。

一般・補正 議案

◇議案第7号

安房郡市広域
市町村圏事務
組合規約の変
更に関する協
議について

組合事務局が

所在する建物が老朽化し、移転が必要となったため、令和3年4月1日から、館山市館山1564番地の1館山市立博物館分館内に事務所を

移転するものです。



移転先の市立博物館分館（“渚の駅”たてやま）

◇議案第8号 館山市行政 組織条例の一部を改正する 条例の制定について

災害発生時における危機管理体制の強化と消防防災力の強化を図り、災害にも強い安全安心で持続可能なまちづくりを進めるため、専門部署として危機管理部を新たに設置するものです。

◇議案第9号 館山市非常 勤の特別職の職員に係る報 酬及び費用弁償に関する条 例の一部を改正する条例の 制定について

予防疫種担当医及び予防疫種健康被害調査会の委員報酬額について近隣市町の額と均衡を図るため、それぞれの報酬額を改定するものです。

◇議案第10号 フレフレ・ たてやま応援条例の一部を 改正する条例の制定につい て

寄附金を充てる事業として、館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付けられた事業を新たに加えるほか、寄附金を基金に積み立てることなく事業に活用できるよう所要の改正をするものです。

◇議案第11号 館山市まち・ ひと・しごと創生基金条例

の制定について 館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた事業を推進していくために、当該事業への活用を目的とした寄附金について、適正な管理運用を図るため基金を設置するものです。

◇議案第12号 館山市国民 健康保険税条例の一部を改 正する条例の制定について

個人所得課税の見直しに伴い、国民健康保険税の軽減判定基準について、所要の改正をするものです。

◇議案第13号 館山市学校 安全共済掛金徴収条例の一 部を改正する条例の制定に ついて

独立行政法人日本スポーツ振興センターから、災害共済給付に係る共済掛金について、要保護児童生徒の保護者負担額を明記するよう通知があったため、所要の改正をするものです。

◇議案第14号 館山市敬老 祝金条例の一部を改正する 条例の制定について

今後の高齢化の進展や高齢者施策への取組を勘案し、敬老祝金の支給対象者を百歳の者及び館山市内の最高齢者に改めるとともに、支給額を一人当たり1万円に引き上げ

るものです。

◇議案第15号 館山市指定 居宅介護支援等の事業の人 員及び運営に関する基準等 を定める条例の一部を改正す る条例の制定について

館山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について

◇議案第17号 館山市指定 地域密着型サービスの事業 の人員、設備及び運営に関 する基準を定める条例の一 部を改正する条例の制定に ついて

館山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令

が公布されたことに伴い、所要の改正をするものです。

◇議案第19号 館山市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について Ⅱ道路構造令の改正に伴い、同政令を引用している条文の整理をするなど、所要の改正をするものです。

◇議案第20号 令和2年度館山市一般会計補正予算(第12号) Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ5億1千53万2千円を減額し、総額2億90億226万9千円とするものです。

歳出の追加の主な内容としては、ふるさと納税寄附金の収入により、子ども・子育て支援基金積立金で3千341万2千円、コミュニケーション医療推進基金積立金で1千505万8千円、また、企業版ふるさと納税寄附金を基金に積み立てる館山市まち・ひと・しごと創生基金積立金で1千万円などの増額をするものです。

歳出の減額の主な内容としては、民生費では、私立保育園等の児童数や認可外保育園の利用人数等が当初見込みより少ないことによ

り保育所運営委託事業で5千600万円、教育費では、設計委託の事業費確定に伴い第三中学校整備事業で9千300万円などの減額をするものです。

これらの補正財源として法人事業税交付金や諸収入、市債などを増額し、国庫支出金、県支出金、繰入金などを減額するものです。

このほかに、繰越明許費の補正として、年度内に完了しない見通しとなった移住・定住促進事業外11件の追加及び変更、地方債の補正として、減収補てん債外5件の追加及び変更をするものです。

◇議案第21号 令和2年度館山市国民健康保険特別会計補正予算(第4号) Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ2億7千858万1千円を追加し、総額63億7千149万9千円とするものです。

主な内容として、歳出では、財政調整基金積立金で2億7千738万3千円の増など、また歳入では、繰越金などを増額するものです。

◇議案第22号 令和2年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2

号) Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ328万8千円を減額し、総額8億862万2千円とするものです。

歳出の内容としては、保険基盤安定繰入金の額が確定したことによる後期高齢者医療広域連合納付金で328万8千円の減、また歳入では、繰入金を減額するものです。

◇議案第23号 令和2年度館山市介護保険特別会計補正予算(第4号) Ⅱ歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ1千370万9千円を追加し、総額62億6千502万2千円とするものです。

主な内容として、歳出では、第1号保険料の余剰金を介護給付費準備基金に積み立てる介護給付費準備基金積立金で1千304万円の増、また歳入では、国庫支出金を増額するものです。

◇議案第24号 令和2年度館山市下水道事業会計補正予算(第2号) Ⅱ収益的支出の補正として、1千580万2千円を減額し、収益的支出の総額を5億2千681万4千円と

し、収益的収入の補正として、1千685万6千円を減額し、収益的収入の総額を6億4千779万2千円とするものです。

また、資本的支出の補正として、国の令和2年度補正予算(第3号)を活用し、ストックマネジメント支援事業を実施するため、5千500万円を増額し、資本的支出の総額を5億3千265万7千円とし、資本的収入では、国庫補助金及び企業債等で5千401万4千円を増額し、総額2億9千106万2千円とするものです。

◇議案第25号 工事請負契約の締結について 館山市立第三中学校校舎等施設解体工事に係る制限付



解体される旧第三中学校校舎

一般競争入札を執行した結果、大葉開発株式会社が、1億3千310万円(消費税及び地方消費税を含む。)をもって落札したので、同社と工事請負契約を締結しようとするものです。

議案第2号 討論

福祉関連の専門職等の増員を

【反対討論・鈴木順子議員】一般会計予算について、ふれあい市場をどうするか見えてこないこと、福祉関連の専門職の増員や、学校のトイレ掃除の民間委託、学校給食の配膳専門員の手配がされていないことから、反対します。

追加 追議

3月定例会の最終日には、追加議案及び発議案を加え、一般会計補正予算に関する追加議案及び市長、副市長、教育長の給与の減額等について審議し、原案どおり可決しました。主な議案と討論の内容は次のとおりです。

◇議案第26号 館山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う、現下の厳しい社会情勢に鑑み、令和2年6月1日から令和3年3月31日まで実施している特別職の給料の10%減額を、令和4年3月31日まで更に1年間継続するものです。

◇議案第27号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症の位置付けが、指定感染症から新型コロナウイルス等感染症に変更されたことに伴い、所要の改正をするものです。

◇議案第28号 令和2年度館山市一般会計補正予算(第13号)

歳入歳出それぞれ3千810万6千円を追加し、総額290億4千37万5千円とするものです。

歳出の主な内容は次のとおりです。

教育費／学校施設換気対策費(2千610万6千円)

教室の換気対策に伴う室温上昇の緩和のため、窓ガラスに遮熱フィルムの貼り付けを行い、快適な授業環境の創出を図るものです。

諸支出金／館山市まち・ひと・しごと創生基金積立金(1千200万円) 企業版ふるさと納税寄附金を基金に積み立てようとするものです。

◇議案第29号 令和3年度館山市一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ3億983万9千円を追加し、総額212億6千683万9千円とするものです。

総務費／SNS活用情報発信事業(155万1千円)

スマートフォンアプリを活用し、利便性の高いサービスの提供を目指そうとするものです。

総務費／市街地循環バス実証運行事業(1千458万4千円) 令和3年1月から3月に実施してきた、市街地循環バス実証運行事業において、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下で行われたことや、運行をしてきた中での課題点や利用者意見などを踏まえ、再度実証運行をしようとするものです。

衛生費／妊産婦応援給付金(1千250万円) 感染予防のため精神的・経済的負担が増える妊産婦の方々に支援しようとするものです。



衛生費／医療機関事業継続支援補助金(1千800万円)

地域医療体制の基幹となる公益性を有する医療機関に対し、事業継続の安定確保を図るための支援を行うようとするものです。



衛生費／新型コロナウイルスワクチン接種事業(5千289万3千円) 新型コロナウイルスワクチン接種において、接種者を迎えるための費用や接種データの入力作業を委託するものです。

衛生費／ごみ指定袋無料配布事業(595万8千円) 外出自粛要請等により家庭ごみが増加しているため、全世帯に対してごみ指定袋の無料配布を行い、家計の負担軽減を図ろうとするものです。



農林水産業費／農水産物販売促進支援事業補助金(150万円) 新型コロナウイルス感染症の影響により、販売量や価格低下が見

受けられる農漁業団体への支援を行おうとするものです。

農林水産業費／加工品開発支援事業補助金(300万円)

食のまちづくり拠点施設などにおける地元産品の充実に図ろうとするものです。

商工費／プレミアム商品券支援事業補助金(6千500万円) キャッシュレス決済ポイント還元事業補助金(2千450万円) 新型コロナウイルス感染症からの地域経済の回復を図ろうとするものです。



商工費／飲食・宿泊事業者等支援事業補助金(900万円) クラウドファンディング事業(飲食・宿泊等チケット)に要するクーポン費・事務費に対する助成をしようとするものです。

教育費／成人式代替事業

(52万円) 〓新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止となった成人式の代替行事を開催しようとするものです。

教育費／スポーツ健康増進事業(89万8千円) 〓外出自粛要請などにより運動機会が減少する中、少しでも運動に親しんでもらえるようスマートフォンアプリを活用した新たな取組を行おうとするものです。



◇議案第30号及び議案第31号 〓人権擁護委員候補者の推薦について令和3年6月30日をもって任期満了となる人権擁護委員2名について候補者(齋藤由美さん、小柴信弘さん)の推薦をするものです。

議員発議

市議会への多様な人材の参画促進 議員活動に当たっての制約要因の解消

◇発議案第1号 館山市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

女性をはじめとする多様な人材の市議会への参画を促進する環境整備を図る観点から、住民が議員として活動するに当たっての制約要因の解消に資するため、本会議や委員会への欠席事由として、育児、看護、介護等を明文化するとともに、出産について、産前・産後期間にも配慮した規定の整備を図ろうとするものです。

また、行政手続等において、原則として押印を廃止する政府の政策動向を踏まえ、



市議会に対する請願に係る署名押印の見直しを行おうとするものです。

◇発議案第2号 館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

本定例会で、市長提出の館山市行政組織条例に関する議決が可決されたことに伴い、総務委員会の所管に、危機管理部を追加しようとするものです。

◇発議案第3号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症対策費の財源確保のため、令和2年6月1日から令和3年3月31日まで実施している、議員報酬の5%削減を、令和4年3月31日まで、更に1年間、継続しようとするものです。

令和3年第1回臨時会提出議案議決結果

議案等番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第1号	令和2年度館山市一般会計補正予算(第11号)	—	原案可決 全会一致

令和3年第1回定例会議案等の賛否 賛否が分れたもののみ掲載

議員名	佐野聖一	長谷川秀徳	倉田孝浩	鈴木ひとみ	室厚美	石井敏宏	森正一	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	龍崎滋	石井信重	鈴木正一	秋山光章	榎本祐三	本橋亮一	鈴木順子
議案等番号																		
議案第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	×

令和3年第1回定例会提出議案等議決結果

議案等番号	件 名	付託委員会	議 決 結 果
議案第2号	令和3年度館山市一般会計予算	予算審査	原案可決 賛成多数
議案第3号	令和3年度館山市国民健康保険特別会計予算	予算審査	原案可決 全会一致
議案第4号	令和3年度館山市後期高齢者医療特別会計予算	予算審査	原案可決 全会一致
議案第5号	令和3年度館山市介護保険特別会計予算	予算審査	原案可決 全会一致
議案第6号	令和3年度館山市下水道事業会計予算	予算審査	原案可決 全会一致
議案第7号	安房郡市広域市町村圏事務組合規約の変更に関する協議について	—	原案可決 全会一致
議案第8号	館山市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第9号	非常勤の特別職の職員に係る報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第10号	フレフレ・たてやま応援条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第11号	館山市まち・ひと・しごと創生基金条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第12号	館山市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第13号	館山市学校安全共済掛金徴収条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第14号	館山市敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第15号	館山市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第16号	館山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第17号	館山市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第18号	館山市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第19号	館山市が管理する市道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第20号	令和2年度館山市一般会計補正予算（第12号）	—	原案可決 全会一致
議案第21号	令和2年度館山市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	—	原案可決 全会一致
議案第22号	令和2年度館山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	—	原案可決 全会一致
議案第23号	令和2年度館山市介護保険特別会計補正予算（第4号）	—	原案可決 全会一致
議案第24号	令和2年度館山市下水道事業会計補正予算（第2号）	—	原案可決 全会一致
議案第25号	工事請負契約の締結について	—	原案可決 全会一致
議案第26号	館山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第27号	館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第28号	令和2年度館山市一般会計補正予算（第13号）	—	原案可決 全会一致
議案第29号	令和3年度館山市一般会計補正予算（第1号）	—	原案可決 全会一致
議案第30号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	原案可決 全会一致
議案第31号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	原案可決 全会一致
発議案第1号	館山市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	—	原案可決 全会一致
発議案第2号	館山市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
発議案第3号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。

ごみの減量化

ごみ処理の現状
意識と行動で環境にやさしい生活へ

佐野 聖一議員

1期目・46歳・波左間
市民クラブ
総務委員会副委員長

問 現在の燃せるごみの排出量はどれくらいでしょうか。

答 令和元年度は、約1万7千744トンでした。

問 家庭ごみの削減について、具体的な取組を伺います。

答 ごみを減らすための行動として4R（リデュース、リユース、リサイクル、リペア）を、皆様に呼びかけています。

問 削減の目標排出量及び期間はどれくらいですか。

答 1人1日当たりのごみ排出量を、令和元年度末の1千266グラムから、令和7年度末には1千90グラムと、14%削減することを目標としています。

解説 ごみ処理に令和元年

度、合計8億7千万円と巨額を投じています。

令和2年度、焼却ごみの成分分析結果は、水分44%、可燃分46%、灰分10%となっています。

水分の大半は食材、食品であると考えられるので「水分を減らす」は「食品ロスを減らす」「ごみ排出量を減らす」ことになっていきます。また、ごみ処理について知る事、そして私たち一人ひとりの意識と行動が、環境にやさしい生活へとつながっていくのだと思います。

生活道路

問 市道など、生活道路の維持管理について、支障箇所の把握はどのように行っていますか。

答 建設課職員により道路パトロールを月2回程度実施しています。そのほか、市職員からの情報提供や、区長をはじめとする市民、議員か

らの通報等により状況を把握しています。

解説 道路の陥没や舗装の破損による穴などで通行上危険を伴う場合は、気付いた方から直接連絡を頂けると状況を把握しやすく、早急な対応が図れるとのことでした。

また、「舗装、側溝を改修又は、整備して欲しい」等の要望は区長を通して区として要望をお願いしているとのことでした。

人事評価と人材育成
職員のやる気を醸成する職場に人事評価
人材育成

榎本 祐三議員

5期目・75歳・笠名
たてやま21・緑風会
総務委員会委員長

問 平成28年に地方公務員法の改正により人事評価制

度が導入されました。従来の勤務評価制度の問題点を是正するため、任命権者である市町村長等は人事評価の基準や方法を定めることになりましたが、館山市は定めていますか。

また、人事評価と表裏一体をなす職員の人材育成についてはどのような取組を実施していますか。

答 人事評価については、改正法施行に合わせて人事評価実施規程や人事評価マニュアルを策定して平成28年度から実施しています。また、人材育成の取組としては各役職に応じた能力向上等の研修や、職場におけるOJTを行っています。なお、「館山市職員人材育成基本方針」については、『人を伸ばす職場づくり』等を基本として現在改訂作業をしています。

解説 館山市を総合計画等に描かれた持続可能な自治体に導く原動力は、市役所職員にあります。職員をいかに活躍させるかは自治体運営の根幹をなすものであり、そのためには適正な人事評価と人材育成のための職員教育が極めて重要です。適正な人事評価と人材育成を提言しました。

館山中学校

問 館山中学校の教員数と教員一人当たりの生徒数及び特別支援学級の生徒数はどれくらいですか。教職員数が50名以上になると労働安全衛生管理体制が求められますが、考慮していますか。

答 教員数は45名程度となり、教員一人当たりの生徒数は二中より4名、三中よりも1名多くなります。

また特別支援学級の生徒数は35名です。職員を含めると教職員数は50名以上となりますので、労働安全衛生管理体制については法令に基づいた体制を構築していきます。

解説 館山中学校は関係者の多大な尽力で開校することになりましたが、教職員の負担がどうなるのか質したものです。千葉県では中学校の教職員の残業時間が最も多く、制限の45時間に対し59時間24分残業しています。

新設館山中学校においては、今まで以上に教職員の負担が予想されることから、労働安全衛生管理体制に抵触することのないよう提言しました。

ひきこもり対策

ひきこもり対策
支援体制の整備・構築を



議員 孝夫 瀬能
3期目・63歳・佐野
公明党
建設経済委員会委員長

問 ひきこもり者数及び対策について伺います。

答 市内のひきこもり者数は把握していませんが、内閣府の調査を参考にすると15歳から64歳で347人と推計されます。

ひきこもり専門の相談窓口も設けていませんが、令和3年度新規事業として包括的相談支援事業を開始し、様々な分野の、複合的問題に対し包括的に相談・支援を行い、その中でひきこもりについても対応してまいります。ひきこもり者への自立支援活動については昨年8月より、市内NPO団体を中心として支援に対する協議会が発足し、市も参加しています。

個別の支援機関が連携し、学習会を行い支援者のスキ



ルアップを図るなど、包括的な支援体制構築へ向け検討しています。他に、NPO法人では無料電話相談や当事者家族による勉強会等、自立支援活動に取り組んでいます。

解説 ひきこもりの実態調査の実施、相談体制の充実、支援活動の強化等を訴えました。誰にも相談せず孤立状態にある家族が4割を超えるとする統計があります。「誰も取り残さない」支援を行うには、依頼をしない家族への対応も重要で、実数の把握が必須です。

活動内容では、学習会等の設置及び参加勧奨、当事者宅への全戸訪問、地域の居場所づくり、就労支援等、

段階に応じた施策が求められます。行政としては、実際に活動に取り組む民間・NPO等への財政・人的支援等の在り方も検討すべきです。また、ひきこもりには先天性や、後天的要因による精神疾患の可能性も認められると、専門医は指摘します。受診が難しい故に障害認定されず、社会保障の対象外

になっている場合も考えられます。他に生活困窮、8050問題など関係する課題も多い上、その解決には時間も要しますが、改善の効果も大きいことから、早急に支援体制の整備・構築を求めました。

食のまちづくり

漁業振興と体系的な防災計画の構築



議員 滋 龍崎
3期目・67歳・広瀬
公明党
総務委員会委員

問 館山市の漁業の課題と今後の漁業振興策を伺います。

答 市内の漁業は、漁業者の高齢化と後継者や担い手不足による就労者の減少が進んでいます。また、漁業施設や漁港施設の老朽化も進んでおり、船形漁港の改修では観光施策との連携や新たな雇用の創出など、地域の活性化と水産物の流通確保



を図り、漁業関係者や地域の団体と共に地域貢献につなげていきます。

解説 今後、整備される船形漁港の荷捌き施設について、観光も含めた新たな取組により、海と漁業の魅力を発揮した「食のまちづくり」の重要拠点とすることで、市内産業への波及効果と船形バイパスの重要度がさらに増すことを述べました。

防災計画

問 体系的な防災計画の構築のために「災害対応工程管理システム」の導入について伺います。

答 この災害対応のシステムは、災害対応業務の効率的・効果的な遂行に役立つことから、今後財政面を含め当該システムの詳細などを調査・研究します。

解説 令和3年度から災害対応の強化を目的に「危機管理部」が新設されますが、この際、過去の経験を活かしながら時代に即した新しい防災システムの導入や体制づくりを要望しました。

また、令和2年度の国の第3次補正予算や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の館山市への配分について、その状況と活用を問いました。

農業における防災対策では、近年の自然災害が大規模化する中で、災害時の農業の早期復旧復興を図るために、「農業版BCP（事業継続計画書）」の導入や「自然災害等のリスクに備えるためのチェックリスト」の普及を推進するように求めました。

館山
中学校

望月 昇議員
3期目・64歳・北条
新政クラブ
建設経済委員会委員

館山中学校 安心・安全な交通インフラの整備を

問 館山中学校
について、4月
開校に伴い生徒
の登下校時の交
通安全施設の整
備状況や生徒へ
の交通安全指導
の状況について、
12月議会に引き
続き改めて伺い
ます。

答 第二中学校正門前市道への注意喚起の路面標示、西門の防犯カメラの新設、また、交通指導員等による交通安全指導や、館山警察署に対して、定期的なパトロールを依頼しているところです。教育委員会としても青色パトロールカーによる登下校時の巡回を継続していきます。生徒へは、

交通安全教室の実施に加えて、改めて自転車の乗り方の注意喚起を行っていきます。

解説 全校生徒720人中450人が自転車通学という登下校時や、悪天候における送迎などについて、安心・安全な交通インフラが急務に思えます。

信号機の新設や、一方通行の交通規制など地域住民の方々の意見を聞きながら、市としても警察に対して働きかけていただきたいと要望したところです。

市民体育館

問 敷地内にある耐震不足の市民体育館について、一日でも早く安全な環境で市民や生徒が使用できるような補強の対策を伺います。

答 教育委員会から耐震改修工事設計委託料として、平成27年度予算編成から毎年要求されています。数年後、館山中学校が移転することらを考慮し、同施設を含めた館山中学校全体の跡地利用を検討する中で施設のあり方について判断していきます。

なお、今後数年間の利用に際しては、引き続きこまめな点検と補修に努め、地震発生時の避難方法など有事

の対応についても備えを行っていきます。

解説 耐震改修の予算を毎年要求しながらも移転を考慮し耐震改修が行われないのは残念なことだと思いま

新 型 コ ロ ナ

新型コロナウイルス 実態に即した支援策を



鈴木 ひとみ議員
1期目・62歳・佐野
新政クラブ
総務委員会委員

問 新型コロナウイルス感染症の市民生活への影響を伺います。

答 影響を受けている事業者に対して、融資制度や給付金等の各種制度により、倒産の抑制につながっているものの、収束が見えない状況で事業を諦めてしまう業者も増加していると推測しています。社会福祉協議会の緊急小口資金、総合支援金の特例貸付の決定件数は、昨年度1件に対して今年度は188件でかなり増加しています。

これからも市民、生徒の安心・安全のために耐震補強、改修の実行を強く要望をしていきます。命を守る施策は、何にも優先して予算化していくべきものと考えます。

住居確保給付金は昨年度2世帯に対して16世帯となり、30万7千円から33万6千200円と10倍以上になっています。コロナ禍の影響による生活保護の相談は少ないので、国が準備した社会福祉協議会を窓口とする制度が活用され、ある程度の生活水準の維持が図られたと考えています。

解説 事業者の実態を市が数字でとらえる仕組みがありません。状況を把握されないまま事業を諦めてしまう事業者もいます。事業者の声を直接聞くなど、実態の把握に努めるべきです。飲食店以外の事業者、農水産業も大きな打撃を受けています。実態に即した支援策が必要です。

人口減少

問 人口減少に歯止めをかけるための施策を伺います。

答 30代女性の出生数が166人から103人へと減少しているのが特徴的です。令和2年1月から12月の転入者が1千810人、転出者が1千760人と、社会増は50人増となっています。

令和2年度は、「南房総のお仕事探しin東京」「安房地区合同進路セミナー」等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、その代替策として安房地域内の企業紹介等の動画を作成、一部インターネットでの公開や安房地域の高校にDVDを配布し、情報を提供する予定です。

解説 30代女性の出生数の落ち込みは第2子以降の出産を控えている可能性があらわれます。もう一人子どもを望む人が安心して産み育てられる環境づくりが必要です。コロナ禍で東京からの移住先として館山市は注目されています。若い世代の移住先を選ばれるためにも、子育て環境の充実を図ることは大切であると考えています。

新
型
コ
ロ
ナ

飲食店での新型コロナ対策 感染予防対策に市の助成を



石井 敏宏議員
3期目・49歳・上真倉
たてやま21・緑風会
文教民生委員会委員

問 本来であれば、飲食店には営業自粛を求めるのではなく、安全基準を確立し、しっかりと感染防止対策を行って営業してもらうことが大事だと思えます。そのためには十分な感染防止対策のための費用が必要です。

千葉県や東京都では行っていますが、飲食店での感染リスクを減らすため、換気設

備・加湿器・仕切り版などの感染対策費に市として助成をすべきではないでしょうか。

答 新型コロナウィルス感染症は、主に飛沫感染や接触感染によって感染することから、密閉・密集・密接の3密の環境で感染リスクが高まると言われています。このため、感染リスクの高い飲食店等については、感染症対策をしっかりと行うことが重要であると考えています。

そうした中、館山市では、「新型コロナウィルス対策実施中」のポスターを作成し、事業所に配布すること

で、感染症対策の取組を促したり、「黙食」のポスターやマスクホルダーの配布を行い、感染症拡大防止対策を啓発しています。



テレワーク・ワーケーションの推進と 空き家の有効活用

室 厚美議員
2期目・56歳・波左間
新しい風の会
建設経済委員会委員



空
き
家
バ
ン
ク

今後感染症拡大防止対策を充実させ、市民の皆様や観光客の皆様が安心・安全に飲食店を利用できる環境を作り上げていくことが地域経済にとっても重要であることから、国の第3次補正予算を活用した新型コロナウィルス感染症対策費等についても検討していきたいと考えています。

答 都心部からの近接性と多様性のある豊かな自然などから、二拠点居住地やテレワーク・ワーケーションの拠点として高いポテンシャルを備えている強みを活かして、都市部のIT関連企業や人材の誘致を推進します。

空き家をコワーキング施設や民泊施設、シェアハウス等として活用することは、コロナ禍での社会情勢に合った有効な活用方策であると考えています。

解説 テレワークの進展をチャンスと捉える各自治体の中で、館山市の空き家バンク登録が5件では非常に見劣りします。

不動産や建築業界ともタッグを組んだり、空き家改修や片付けに補助金を出す等、他市の事例を参考に空き家バンクの活性化にもっと力を入れるよう要望しました。



問 テレワーク・ワーケーションを推進する施策をどう進めるか、そのための空き家の有効活用の方策について伺います。

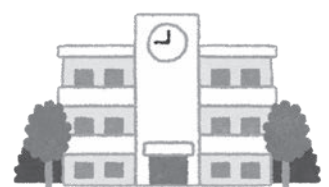
学 校 再 編

問 昨年12月の館山市学校再編調査検討委員会からの答申を基に今後、学校再編をどう進めていくか伺います。

答 保護者、地域住民の皆様のご意見を伺いながら、館山市学校再編基本指針の改定作業を進めていきます。

解説 答申では、再編の進め方として1学校あたりの児童生徒数が90人を下回ることを想定される場合、地域とともに再編につき協議・検討を行うとされていますが、90人という数字よりも先に、教育環境の観点から望ましい学校規模を示す必要があるのではないのでしょうか。

その上で地域の事情も勘案して、館山市全体としてどのような学校編成にしていけるのか全体感を持って検討を進めることを具体的な数値を示しながら訴えました。



第9期高齢者保健福祉計画 人材確保・人材育成の取組を

人材
確保・育成



鈴木 順子議員

8期目・71歳・下真倉
じゅんふう
文教民生委員会委員長

化している地域課題に対応し、地域で支え合う環境づくり、制度やサービスなどの枠組みを超えた多様な主体との連携による「まるごと支援」の推進、地域に根差した施策展開等を進めていきます。

解説 人口減少や少子高齢化の中で求められる課題があまりにも複雑化していること、令和元年房総半島台風の経験から地域の力の大切さを実感しています。

様々な観点から事業を取り組むためには人材確保、人材育成が必要となることを念頭に置いて進めていただくようお願いしました。

循環バス実証運行

問 循環バスの実証運行が1月から3月まで行われましたが、なぜ新型コロナウイルス感染拡大が取り沙汰されている中で、行われたのか経緯を伺います。

答 実証時期については、年度当初から国の許認可など諸手続きに要する期間等を勘案した中で決めたものです。

緊急事態宣言が発出されましたが、今回の実証運行は主に買い物や通院など、市民の日常生活においての利用

を想定しており、安心して利用できるような十分な感染防止対策を講じて運行の継続を決めました。

解説 私も利用させていただきましたが、確かに人は当初の少人数からだんだんと

生徒の
安全

館山中学校新校舎建築 登下校時の安全対策の検討を



森 正一議員

3期目・54歳・八幡
たてやま21・緑風会
文教民生委員会委員

問 館山中学校新校舎建築の進捗状況を伺います。

答 令和2年度、実施設計を行い、令和3年度は現校舎の解体工事、令和4年度から新校舎の建築工事に入り、令和6年度中の供用開始を予定しています。

解説 令和6年4月から新校舎に移動できるか確認したところ、統合により設計変更が生じたため、年度初めから供用を開始することは厳しいとのことでした。年度途中に通学路の変更等が生じるため、登下校の安全対策

多くなっているように感じました。できれば今回のような状況下でなく、今一度の運行を得てから生かされることを望みます。

等の検討を要望しました。

学校再編

問 学区の再編等も検討に入れ、館山市学校再編基本指針の改定、再編計画の策定・実行を早期に進めるべきではないでしょうか。

答 館山市学校再編調査検討委員会からの提言を踏まえ、館山市学校再編基本指針の改定準備を進めており、改定案が出来次第パブリックコメントを実施し、保護者や地域の意見を伺いながら改定作業を進めていきます。また、保護者や地域との協議方法やスケジュールの明記についても検討していきます。具体的な再編計画に関しては、地域との協議・合意形成が整ったところから順次策定していきたいと考えてい

ます。

解説 小規模・大規模校とも、それぞれの長所・短所があります。急激に少子化が進む中、子どもたちにより良い学習環境を提供するためには、統合はやむを得ない選択肢であると考えます。

LINE公式アカウント

問 情報発信力の強化、各種行政サービスの向上のため、LINE公式アカウントを導入してはどうでしょうか。

答 各種情報発信や行政サービス等への活用には有効であると認識しており、現在、導入に向けた検討を行っています。

解説 LINEはリアルタイムでの情報発信が可能で、災害時や緊急時の情報伝達アイテムとして優れており、全国600以上の自治体が導入しています。市政一般、イベント、子育て、防災、防犯、新型コロナウイルス関連情報などの様々な情報発信だけではなく、市への問合せ、証明書等の申請、各種払込み等も可能であり、利便性向上のため、早期の導入を要望しました。



JR内房線における「ワンマン運転」導入について

令和3年3月13日（土）にJR内房線・外房線のダイヤ改正が実施され、これに先立ち、3月3日（水）に新型車両の展示会が館山駅で行われました。

今回のダイヤ改正に併せ導入された新型車両は、日中時間を中心に、木更津～安房鴨川～上総一ノ宮間で直通運転を行い、ワンマン運転が実施されます。

この車両では、一部のドア上部に案内表示画面が設置され、運行情報など情報提供の充実が図られています。

また、ワンマン運転となる車両では「半自動ドア機

能」が使用されています。なお、館山市議会では、ワンマン運転は、身体が不自由な障害を持つ方や高齢者などにとって不安があることから、昨年12月に衆議院議長、参議院議長、国土交通大臣、千葉県知事に対し、住民や利用者への説明を行い、安全性を十分に確認することなどを求める意見書を提出しています。



未来に残したい館山の風景 表紙写真を募集しています！

議会だよりの表紙写真を募集しています。あなたの写真で表紙を飾りませんか。

☆募集する写真

四季折々の風景や祭り、行事など、館山市内で撮影された季節が感じられる写真

☆応募資格

館山市在住、在勤または在学の方

☆応募方法

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送（CD等に保存）、または電子メール（受信の都合上、1～3MB）で館山市議会事務局へお送りください。

詳しくは、「館山市議会HP」をご覧ください。



「議会」や「議会だよりの」への 意見・質問をお寄せください

議会や議会だよりに関するご意見やご質問をお待ちしています。気兼ねなくお寄せください。

議会事務局まで、電話やメール、手紙・葉書等で、ご連絡して下さい。電話番号及び宛先（住所・メールアドレス）は、下記のとおりです。

YouTube 市議会を動画配信

本会議の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信しています。

自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画（生中継終了後2日程度後からおおむね2か月間）で視聴できます。



編集後記

未来に残したい館山の風景をテーマに、昨年度から市民の皆さんに議会だよりの表紙を公募し、今までに31点もの作品をお寄せいただきました。銀杏並木が美しい秋の城山公園、水面を彩る鏡ヶ浦の夕景などの自然風景は、市民みんなの憩いの場であり、来訪者の癒しの旅を演出する貴重な財産です。四季折々の風景の中で、一日でも早く多くの人々が相集うコロナ終息の日が訪れることを願うばかりです。

5月の常任委員会委員の改選により、議会だよりの編集委員も新たな顔ぶれとなりました。編集委員一同、ご愛読いただけるよう、工夫を重ねながら市議会の活動を適時、適切にお伝えしてまいります。（太田 浩）

【議会報編集委員会】

委員長	太田 浩
副委員長	鈴木 順子
委員	瀬能 孝夫
委員	榎本 祐三